

日本語教室 うづま〜れ中央教室と入門クラスが開講 ▶▶▶

★【うづま〜れ中央教室】



▲それぞれの学習者に合ったテキストを使い、グループごとに日常生活に必要な会話を中心に学んでいます。

★【うづま〜れ入門クラス】



▲全12回を1タームとし、ひらがな・カタカナの書き方を学びます。

コロナ禍に於いても、外国人住民の皆さんからは、日本語を勉強したいという問い合わせをたくさん受けました。そこで9月21日、協会の事務室がある栃木市市民交流センター（キョクトウとちぎ蔵の街楽習館）内に日本語教室を新しく始めました。クラスは入門レベルと、どなたでも参加できるもの（中央教室）の2つを設けました。

また日本語支援者の皆さんがスムーズに活動できるよう、日本語教育アドバイザーの角田先生に、学習者のレベル分けや教材選び、教え方の助言などをしていただくことにしました。

現在、学習者の国籍はベトナム、ネパール、スリランカ、フィリピンなどで、来日して間もない人から、すでに10年以上経つ人まで、様々な人が日本語を学びに来ています。

中央教室は、グループ学習のスタイルで、学習者と支援者が向き合って、たくさんの会話を楽しみながら学んでいます。

入門クラスは、角田先生を講師に、ひらがな・カタカナの書き方や日常よく使うあいさつやフレーズを12回で学ぶクラスとしました。

【日本語支援者N・Fさんから一言】

10年以上前にも養成講座を受講し、外国の方に日本語を教える機会をいただきました。昨年キョクトウで日本語教室が開始されるということで、再度講座を受講し、教室でのボランティアにも参加させていただくことにしました。キョクトウの近くを流れる「うづま川」の名前と「みんなあつま〜れ」という言葉を合わせて作られた「うづま〜れ」という日本語教室の名称は私の大のお気に入りです。

「7時7分」のことを「ななじななふん」でも「しちじしちふん」でもなく、「しちじななふん」と言うこと、「9時9分」のことを「きゅうじきゅうふん」でも「くじくふん」でもなく、「くじきゅうふん」と言うのは、私たちにとっては当たり前のことですが、外国の方にとってはとても難しいことのようにです。学習者が学びたいことに寄り添い楽しく学べる場にするためには、ボランティアが日本語を教えることを楽しむことが大切だと思っています。毎週水曜日の「うづま〜れ」は活気ある楽しい教室になっています。

【栃木市国際交流協会日本語教育アドバイザー 角田亮子さん】

私はこれまで10年余り、栃木市の地域日本語教室のボランティア養成講座等に携わってきましたが、現在は、栃木市国際交流協会日本語教育アドバイザーという立場で仕事をしています。主に教室の立ち上げや運営、教材拡充のために、協会職員と相談しながら活動しています。また、実際に日本語教室に入り、学習者と支援者とのマッチング、学習者に合った教材選び、テキストの進め方のアドバイス等も行っています。

以前は、養成講座を受講しただけでは不安で、ボランティア活動への一歩を踏み出せない方が多くいらっしゃいました。また、活動を始めた方々も、抱いた疑問や不安を解消できないまま学習者の対応をし、楽しさと戸惑いの狭間で活動されていたように思います。私自身も、地域日本語教室に於ける日本語教育の専門的知識の必要性和、ボランティア本来の役割との間で悩みながら、毎年、講座の最終回で受講者の皆さんを送り出すことしかできないことを心苦しく思っていました。

しかし現在、前述したサポートができるようになったことで、支援者の方々の負担が軽減されると同時に本来の役割が明確化し、より楽しく活動していただけているように思います。支援者の方々には、同じ地域に住む者として学習者と向き合ったり、肩を並べていただきたいと思っています。

※今年度から、呼称を「ボランティア」から「支援者」に変更しました。

【栃木市国際交流協会の日本語教室】

教室名	曜日・時間	会場	料金
うづま〜れ中央教室	毎週水曜日 10:00~11:30	キョクトウとちぎ蔵の街楽習館	無料
うづま〜れ大平教室	第1・3土曜日 10:00~11:30	大平公民館	無料
うづま〜れ入門クラス	全12回火曜日 10:00~12:00	キョクトウとちぎ蔵の街楽習館	無料
アミーゴ日曜クラス	第1・2・3日曜日 10:00~12:00	第五地区コミュニティセンター	1か月1000円

外国語講座

令和4年度の外国語講座は、初級英会話（昼間）と（夜間）の2クラス、中級英会話、初級スペイン語、はじめての韓国語の5つの講座を開講しました。



▲初級英会話（夜間）のクラス



▲初級英会話（昼間）のクラス

第17回日本語スピーチコンテスト



2月12日（日）とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）小ホールにて、第17回日本語スピーチコンテストを国際ソロプチミスト栃木との共催で開催しました。今回は、ベトナム、フィリピン、ネパール、ウズベキスタンなど10か国、19名が日本で生活して感じたことや将来の夢などを日本語でスピーチを行いました。会場にはたくさんの応援団が駆けつけ、写真や動画を撮りながら、熱心にスピーチに聴き入っていました。

審査の結果、最優秀賞には、「出会いが開く未来」というタイトルで保育士になる夢を語った佐野日本大学短期大学1年生、フィリピン国籍のオーバス クリスティーン ジェーンさんが受賞されました。



▲来賓・審査員・発表者による記念写真

4

栃木市国際交流協会だより
第15号



▲最優秀賞 オーバスさん



▲ソロプチミスト賞 リンさん

☆日本語スピーチコンテスト上位入賞者

（敬称略）

賞	タイトル／氏名
最優秀賞	出会いが開く未来 オーバス クリスティーン ジェーン （フィリピン）
ソロプチミスト賞	偽物 ドアン ティ リン（ベトナム）
優秀賞	介護福祉士をめざして ラトゥル エムディ アシュラフル アラム （バングラデシュ）
優秀賞	ウズベキスタン人が日本に行ってみたら ブラートジョノフ イルホムジョン （ウズベキスタン）
特別賞	日本人はウソが上手です サマラヴィーラ アーラッチゲ ラヴィル アヴィシカ（スリランカ）
特別賞	弱い私 グエン ヴィエット ハー（ベトナム）

* 当協会HPからスピーチの動画を見ることができます。

イチゴ狩り



6月5日（日）、西方地域のイチゴ農家さんのご厚意で、3年ぶりにイチゴ狩りを体験しました。ペルーやブラジル出身の家族連れと都賀西方地域委員会の皆さんなど64人が参加しました。

参加者は、新種のとちあいかやスカイベリーなどを思う存分摘ませていただき、カゴや箱一杯のイチゴを持ち帰ることができて、大満足の様子でした。

さつまいも掘り



10月16日（日）、初めての試みとして、同じく西方地域のさつまいも畑で、さつまいも掘りを行いました。特にペルー人はさつまいもが大好きということで、45人の参加がありました。

掘った芋の重さを競うコンテストで、一番重かったものは、1260gもありました。

さつまいもは、畑の傍らで焼き芋にしてふるまわれ、秋の楽しい一日を過ごすことができました。

着物で街歩き・日本文化体験



11月23日（水・祝）、4年ぶりに着物で街歩き・日本文化体験を開催し、技能実習生や留学生など9人が参加しました。この日は雨が降り、寒い一日となりましたが、参加者は、生け花をいけたり、着物を着て蔵の街を散策したりしました。また新しくできた栃木市立美術館で、喜多川歌麿の肉筆画や大作「雪月花」三部作の高精細複製画などを鑑賞しました。

栃木市国際交流協会は、今年度も、とちぎネパールコミュニティ（代表ルイテル マヘス氏）と連携して、市内の清掃活動を行いました。また、当初は留学生として来日したネパールの皆さんも栃木市で家庭を持ち、現在は子育てをしている人も多くいることから、希望者を対象に育児についての説明会を行いました。

とちぎネパールコミュニティの皆さんの活動について、ご紹介します。



★ディクテル市バツタライ市長が栃木市訪問



▲大川市長を表敬訪問



▲記念品贈呈

（写真：マヘス氏提供）

10月26日には、ネパール国 第一州 コタン郡 ディクテル市（Diktel）のティルトラジ バツタライ市長が栃木市を訪問されました。今回の訪問は、海外在住ネパール人協会（日本支部栃木）会長チェットリ・マンディブ氏やとちぎネパールコミュニティの代表ルイテル・マヘス氏、そしてディクテル市出身の方が栃木市に在住し、活躍されているということから、バツタライ市長の公式訪問が実現しました。

バツタライ市長は、栃木市滞在中、大川秀子市長を表敬訪問したほか、梓町のとちぎクリーンプラザや栃木県南地方卸売市場などを視察されました。



▲ディクテル市の位置

ディクテル市は海拔700メートルから2250メートルの標高に位置し、面積は246.51平方キロメートル、総人口は43,295人（2018年国勢調査）。主な産業は農業で、ショウガやキウイフルーツを生産しているそうです。

バツタライ市長は、多くのネパール人を受け入れてきた栃木市に感謝し、今後、栃木市とは民間レベルでの交流を期待していると話されました。



★育児に関する説明会



5月29日（日）、ネパールコミュニティの皆さんから育児に関する相談があったため、栃木市健康増進課の職員を講師に、赤ちゃんの食べ物などについて、説明会を開催し、新米のパパやママたちが赤ちゃんを連れて17人参加しました。

ネパールでは、1歳になる前から母乳のかわりに牛乳を飲ませるそうですが、日本では、赤ちゃんの消化機能が整うまでは子ども用ミルクをあげて、牛乳は飲ませないという習慣の違いがわかりました。講師からは、子ども用ミルクは鉄分が多く含まれており、9か月以降の子どもは鉄分が不足するので、牛乳よりも子ども用ミルクをあげた方がいいなどのアドバイスがありました。

また離乳食の量やかたさなども、サンプルを見せてもらいながら教えてもらうことができました。参加者は、初めて聞く話がたくさんあって、ためになったと喜んでいました。

★蔵の街清掃活動



5月8日（日）と12月11日（日）の朝、とちぎネパールコミュニティに、栃木地域委員会の皆さんなど日本人ボランティアも加わって、蔵の街清掃活動を行いました。

ネパールコミュニティの皆さんは、いつもお世話になっている栃木市へ恩返しをしたいという気持ちで、毎回20人以上のメンバーが集まっています。彼らがいつも感心することは、観光客が多かった連休明けや秋まつりのあともゴミが少なく、常に街がきれいに保たれているということです。それでも清掃する度、ペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻などをたくさん拾います。拾ったゴミを分別することは、もうすっかり習慣となりました。

最近では、地元の皆さんから、「おはようございます」とか、「お疲れ様です」などと声をかけてもらえるようになり、自分たちを認めてもらえることが励みになっています。

栃木県内でも、とちぎネパールコミュニティを見習って、清掃活動をする外国人コミュニティの輪が広がっているとのことです。

多言語情報コーナー FMくらら857

外国人住民に対する更なる情報発信の強化を図るため、ラジオ放送（FMくらら857）を利用して、英語・ネパール語・フィリピン語・スペイン語・中国語・ベトナム語・シンハラ語の7言語で、栃木市の情報を放送しています。

毎月最終週『とち介PのHAPPY TOWN』の後半 午前11時35分～11時55分

月曜日：フィリピン語、火曜日：ネパール語、水曜日：中国語、木曜日：スペイン語、金曜日：英語
翌週の月曜日：シンハラ語、水曜日：ベトナム語（入替がある場合もあります）

情報は、ラジオ放送のほかに栃木市及び栃木市国際交流協会のホームページで読むこともできます。

外国人相談窓口 スペイン語相談員が対応します

毎週火曜日 栃木市役所 市民生活課外国人相談窓口 9:00～17:00

毎週月曜日～金曜日 栃木市国際交流協会外国人相談窓口 8:30～17:00

☆ スペイン語のほか、英語・中国語・フィリピン語・ベトナム語・ネパール語など多言語で対応可。

翻訳機を使って対応する場合があります。

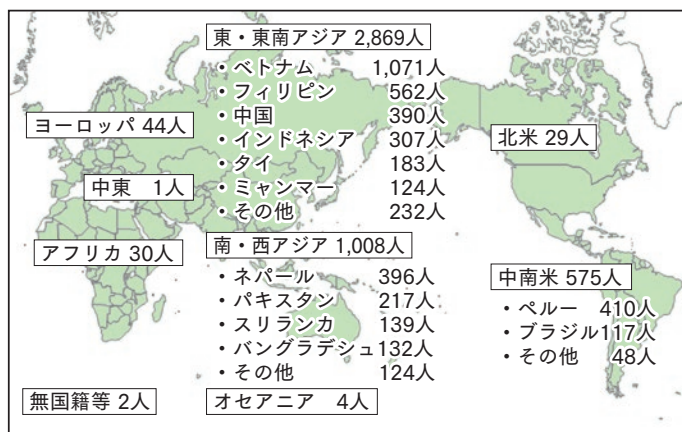
☆ 通訳・翻訳業務を承ります。



令和4年6月から、大木洋氏が栃木市国際交流協会会長に就任しました。
大木氏は大木生コン(株)の代表取締役のほか、まちづくりにも積極的に関わっており、現在、歌麿を活かしたまちづくり協議会会長、NPO法人蔵の街遊覧船副理事長、とちぎ日独協会監事等を務めています。

当協会会長としては、多様な文化・価値観を認め合える多文化共生社会の実現に寄与する事業に取り組んでいきたいと意気込んでいます。

栃木市外国人登録者数



2023年3月31日現在	男	女	合 計
外国籍 (栃木市全体)	2,578人	1,984人	4,562人
栃木地域	1,258人	1,108人	2,366人
大平地域	648人	486人	1,134人
藤岡地域	155人	99人	254人
都賀地域	152人	106人	258人
西方地域	122人	51人	173人
岩舟地域	243人	134人	377人
栃木市全人口	77,698人	77,583人	155,281人

発行

栃木市国際交流協会（TIC）

〒328-0016

栃木市入舟町6番8号

キョクトウとちぎ蔵の街楽習館

TEL：0282-25-3792 FAX：0282-25-3928

E-mail：info@tic-tochigi.jp URL：http://www.tic-tochigi.jp

ホームページは
スマホに対応
しています

